



通信員からの声

通信員コメント欄からの声を集めてみました。

希望記事

- ・職場の対人関係など、夫婦問題と同じように取り上げていただければ嬉しいです。
- ・老後に差がつく夫婦の接し方がとても為になりました。今度は職場の人間関係でこのような記事があればいいかと思いました。
- ・公務員の長期病気休職が多くなっていることが問題となつて、久しくなります。当職場でも長期の休職者があり、やっと職場復帰して徐々に職場で落ち着いてきている姿を見るとほっとしています。反面、職場の人間関係で悩み、この不況の中職場を去っていく同僚も少なからず多くなつております。各人の判断ではありますが、今更言うのものはばかりですが、働きやすく、休職者を少なくするツールがコミュニケーションではないかと強く思うようになって来ました。コミュニケーションの効用について特集して頂ければと思います。
- ・若い世代が、仕事上・仕事の延長上での目上の方に対して何を思い・考えているのか。そして、関心・感謝・尊敬に値する上司・同僚は……

職場の人間関係に悩む方々が多いことを再認識しました。平成二三年度中、いずれかの号で企画します。

- ・仕事以外のやりがいのあることの見つけ方（一生の趣味等）
- ・来年は次男が中学生になり、ぼちぼち自分の時間も持てそうな気がしています。ところが、今まで、仕事・家事・子育てに精一杯で、自分のために何かをすることがなかったため、これといって興味のあること、好きなことが思い当たりにません。中高年にお勧めの趣味や余暇の過ごし方をご紹介いただけるとうれしいです。

Hobby & Sports のコーナーで従来通り取り上げていきます。

- ・退職後の生活（実例）
- ・先達たちの退職後のいきいき人生の様子など

「私のセカンドライフ」というコーナーを設け、定年退職者の生活にスポットを当て、現役の方々に参考にしてもらうコラムを四月号より企画しています。

- ・年金のこと
- ・公務員年金の有効活用法
- ・今号の家計見直し講座②公務員にマッチする死亡保障のツボは、最高でした。現在、保険の見直しをしている最中でしたので、とても役に立ちました。一般の方と公務員は保険や年金が違う為、このような記事はどんどん掲載してほしいです。

老齢年金のみならず、遺族年金、障害年金も含めた共済年金、短期給付（健康保険）など、公的保障をまとめた形で四月号より連載する予定です。

- ・全国各地のB級グルメの紹介記事をお願いします。

B級グルメも含めた地元の紹介を来る四月号よりコラムとして連載する予定です。

- ・（続けてではなく空けていいので）カラダ改善ウォーキングの第二弾があれば楽しみます。
- ・健康記事。特に普段の生活に取り入れることができること。

つしーに再登場いただくかどうかは別として、手軽な運動は常に「ALPS」掲載のテーマです。分かりやすく、実行しやすいをモットーにした記事を掲載します。

その他ご意見

- ・ALPSには、本当に素晴らしい記事が多くてビックリするくらいです。せっかくなら記事をよせてくださっている方々を講師としてお招きしたセミナーがあれば、もったいいです。講師派遣もしておられますが、その時に経験豊富な実績のある講師を派遣していただけると東京以外でも貴重な講演を聞くことができます。

平成二三年当協会事業の一つとして、まさにお申し出の内容の事業を実施の方に向けて検討中です。正式決定後、各自治体福利厚生担当課宛てにご案内します。

・茂幸雄さんの東尋坊での救助活動も大変貴重な記事でした。自殺防止活動を通して、社会のゆがみが浮き彫りとなってきます。勉強になりました。

・「自殺防止活動は、人命救助活動です」 皆さん勘違いしていませんか？」は、自分にとってかなり衝撃的な内容でした。茂幸雄さんの日々の活動に敬意を表するとともに、今後は常に意識しながら業務に臨みたいと思いました。

・「自殺防止活動は、人命救助活動です」を読んで、このようなテーマについては、なかなかメディアに取り上げられることがないですが、このような人命救助活動があることを知り、多くの人々の手で多くの人々の命が助けられていることに感動しました。

・「自殺防止活動は、人命救助活動です」 皆さん勘違いしていませんか？」タイトルにあるように、私自身、勘違いをしていました。記事は五ページですが、それ以上に内容の深さと驚きがありました。

・自殺防止活動の記事で、いったんは自殺を止められたのに、結局最後に亡くなってしまったというのが、とても辛かったです。いろいろあるにせよ、死を選んでしまうことは、本人だけではなく、むしろまわりの人々に多大な影響を及ぼしてしまうと思います。この自殺防止活動というのは、本当に大切で、茂さんのような方々の育成は絶対に不可欠で、注目していかなければならないと強く感じました。

・「自殺防止活動……」 なかなか真似のできないこと。退職金をつぎ込んだとの事もさることながら、日々の活動も大変なものでしょう。理解者の広がりがあればと思うものです。

・「自殺防止活動……」茂さんに感銘しました。以前ラジオで放送されていたのを聞いたことがあったので、どんな人かと興味関心がありました。しっかりと読まさせていただきました。人の命の尊さを知って、さまざまな方を救ってきただけに、伝わってくるものがあります。

・どの記事も興味深く拝見しましたが、「自殺防止活動は、人命救助活動です」 皆さん勘違いしていませんか？ 茂幸雄さん」の記事が今月には特に印象に残りました。正直なところ、この記事を読んだ後も個人的には自殺とはその人が選んだ「生き方」の結果であるという考えに変わりはありません。しかし、行政は増え続ける自殺に対するなんらかの対策を講じることを期待されております。健康推進分野からうつ病対策など積極的に勧めていかなければならないと思っています。

読者の皆様から大きな反響をいただきました。

・「老後に差がつく……夫との接し方」、なるほどと思いました。「お腹がすいた？」と聞かれれば「別に」と答えます。食べに行きたいのなら、そう言っただけでいい！ この記事を嫁に読ませようとしています。

・「老後に差がつく……夫との接し方」はおもしろかったです。会話がうまく通じないことで、離婚まで考えるんですね。子供が小学生の頃、「持った？」「うん。」とか、「できた？」「ばっちり！」なんていう私と子供の会話を、夫は何を話しているのか分からないと言いました。学校への提出物があるとか、テストがあるとかの話の時に、夫も一緒にいたのに。それからは、面倒だなとは思いつつ、夫には順序立てて具体的に話すように心がけています。

・「老後に差がつく……夫との接し方」を妻に読んでもらおうと思いました。

・「老後に差がつく……夫との接し方」を読んで、男女の感覚の違いを改めて認識し、勉強になった。

・「老後に差がつく……夫との接し方」を読んで前回とは違う妻側へのメッセージで、夫の気持ちが読み取れていて大変よかったです。

皆さん、夫婦関係について、いろいろお考えのようです。

・通信員からの声が好きです。いろいろな人が様々な考え方でいることがよくわかります。

・毎回興味を持って読ませていただいています。通信員からの声も様々な意見があり、おもしろいと思いますし、また逆にテーマの選択に大変さを感じました。これからもよろしく願います。

これからも色々なご意見を通信員からの声として紹介していきたいと考えています。

・あつという間の一年。二〇一一年はこれまでになく、気負いのないわたし。ただただ、自分と主人との時間を大切に過ごしたい……

夫婦円満、そして家族円満が何よりです。

・いつも楽しみに拝読しております。同じ公務員という職種の方々が、何を考え、どのように過ごされているか、とても勉強になるし励みになります。

この情報提供が、「ALPS」のあるべき姿だと考え、編集しています。